



「3月4日の午後1時に楠葉中央公園に集まる」「“安倍9条改憲NO”のパレードをたくさんの方で」と熱気あふれる話し合いで準備が進んでいます(2/4 楠葉市民センター)

# 平和がいちばん

2018年2月15日  
第128号

平和で豊かな枚方を  
市民みんなで作る会

## 自衛隊は軍隊です 平和憲法こわさないで

安倍首相が憲法改正発議への意欲を語り、今国会は戦後初めて改正発議を許すのかが最大の焦点になります。現在の自民党案では、参院選合区解消や教育無償化なども上がっていますが、9条に自衛隊を明記することが最大の狙いであることは論を待ちません。現9条は「戦争放棄」「戦力不保持」「交戦権否認」が規定されています。自民党内には2項を削除して「国防軍」を書き込む強行案もありますが、2項は残り3項に「自衛隊」を追加するのが安倍案です。この案は国民に「まだまし？」と容認されやすいと考えているのですが、自衛隊と「戦力」との関係がまったく不明確です。安倍首相は「自衛隊の任務や役割は変わらない」と言います。そうであるなら憲法を触る必要はまったくありません。

「安倍改憲」を支援する「日本会議」は、“自衛隊ありがとう”を前面に「憲法に自衛隊明記を」の運動を行っています。使われる写真は被災住民を背負い救出

する場面。自衛隊の主な仕事は「災害救助」と錯覚させる狙いです。しかし自衛隊は軍隊です。世界で7番目の軍事力を持つ武装組織です。「戦争法」で集団的自衛権行使も可能になり、日本が攻められてもいないのに他の国一特に米国の戦争に加担して世界のどこへでも派兵・参戦できる軍隊です。日本の自衛隊員が他の国で人々を傷つけ殺し、逆に隊員も殺される可能性が高まっているのです。安倍首相は記者会見で、北朝鮮への警戒態勢にある「自衛隊の諸君の強い使命感、責任感に対し敬意を表する」と語りました。この感謝を「憲法に明記」で表そう、というのも強調点の一つです。しかし考えてもみてください、北朝鮮との緊張はすべて政治の責任です。米軍事戦略に同調し、「最大限の圧力」一辺倒の日本政治・外交の欠陥が、自衛隊に必要以上の緊張を与えているのです。安倍政権の緊張緩和への構想力、交渉力が問われています。9条改悪は日本を戦争ができる国、戦争をする国にします。

### 資料

#### 「陳情書」

今年四月から図書館・生涯学習市民センター複合館の運営が民営化されます。この議決に反対する団体が、一七年二月、市議会議長あてに提出しました。提出団体の了承を得て一部編集しました。

四〇年の歴史、社会教育の先進都市の誇りをもった枚方の図書館、生涯学習を後退させることにならないよう図書館行政の充実を求めます。私たち市民は図書館が知る自由を保障する「知の拠点」として直営運営を強く希望します。来年度から図書館・生涯学習市民センター複合館6館への指定管理者制度導入に向けて準備が進められています。以下のことを要望します。

- 一、(略)
- 二、指定管理導入後の縮減効果が認められません。導入後五年間の財政縮減効果は二千二百万円ということですが、一年一館約七十四万円前回の蹉跎・牧野導入の時は一年一館八十二万円でした。効果は下がっています。今後も人件費などで経費は上がっていくと予想されます。また、六館一括でなく複数の業者が入ることで中央館のコントロールはむずかしくなり、行政当局は「中央図書館のさらなる強化が必要」と言われています。そのため人件費その他の費用がかなり経費はより高くなることになりそうです。
- 三、中央館、各分館の連携、協力のもとの一體的運営計画を示してください。三つのグループに分けて指定管理者を決めました。行政当局は「異なる業者間で切磋琢磨して良いものができる」と言われますが、図書館運営は各館どうしの日常的な連携、協力の下で密に連絡、相談をしながらスムーズな運営ができてきたのです。図書館運営の現場に競争はなじまず逆に阻害要因となります。
- 四、図書館運営は地域とのつながり、継続性が大切です。正規司書がカウンターに常駐することで市民の図書館になります。継続性のある計画を示してください。蹉跎・牧野二館の指定管理業者の構成員であったJTIBが二年で降りています。このように民間に任せると、五年の指定管理期間が終わると変わる、非正規の契約社員は数年で変わる。地域とのつながり、図書館運営でも継続性、積み重ねの上に発展させるということが難しくなります。もつとも大事なのは経験を積み重ねた人材の安定的な配置をすることです。それができなくなる。ここが最大の課題点、危惧されることです。
- 五、(略)

枚方市の図書館行政を考える会  
他一団体

## ホッと タイム

### 何でも「多数決」は横暴です

## 松田久子



新聞の投書欄に「民主主義といえども多数決で決めてはならないもの、あるいは決められないものがある」との書き出しで、「例えば学級会で掃除についてある生徒が『皆でせずとも係を決めれば』と提案。賛成多数で可決。次に『A君が適任だ』と誰かが推薦する。A君は嫌がるが、これまた多数決で可決。自分さえよければいいと考えるのだ。これが民主的な多数決と言えるだろうか。民主主義には『少数意見の尊重』という大前提がある。いかに多数の賛成があろうとも不公平を看過することは民主主義の正義に反する。まして少数者に強制することなどできるはずがない。翻って、沖縄の基地問題である。明らかに不公平。国会で多数の議席を持つからと言って、これほど不公平な政策をよくも進めてきたものだ（以下略）」この単純明快な論理に全く同感です。

折しも名護市長選が行われ、辺野古新基地建設反対を訴えてきた稲嶺進氏の3選はかないませんでした、相

手方陣営の徹底した「基地」論点外しと、期日前投票率の高さ（44%）が選挙の異常さを物語っています。安倍政権はこの結果を振りかざし、更に沖縄に対して「不公平」を強いてくることは想像に難くありません。

また安倍政権は改憲に向けて、国会での発議を行おうとしています。そして早ければ年内にも国民投票を行うことも考えています。国会で改憲勢力が多数を占める中で「多数決」による政治が行われようとしています。憲法9条に自衛隊が明記されれば「海外で戦争する自衛隊」へと変貌していくことは明らかです。

今、「安倍9条改憲NO！憲法を生かす全国統一署名」が呼びかけられ私たちも取り組んでいます。今年5月末までに3000万人を集めきる目標は、人口の4人に1人に相当する数です。これまでの街頭行動だけでなく、家庭訪問も行い数を積み上げていこうと頑張っています。是非、御協力をよろしく願います。

## 手塚たかひろ 議員日誌



1月25日「安倍9条改憲NO！3000万署名」行動 香里ヶ丘トップセンター前で「9条は変えたらあかん」「安倍は嫌いや」など、多くの方から署名の協力をいただいた。昨秋と比べて市民の反応は良い。改憲の恐ろしさが市民に理解され始めた。安倍首相は今通常国会での改憲発議、年内の国民投票への意欲を示している。これからが正念場だ。寒さ厳しい季節ではあるが、もっと声を上げて温かくなろう。

1月28日「知的障害者を普通高校へ北河内連絡会」主催の学習会 前川喜平前文部事務次官の講演を聞く。憲法26条は「一人一人、子どもにふさわしい教育を保障する」ことを義務付けている。前川さんの「就学免除、猶予は国の責任放棄だ。どの子にも学習の機会を保障することが行政の責任」との言葉が胸に響いた。予算と人を付けて「すべての子どもが個人として尊重され、みんな中でともに生き育つ」教育が目指すべき方向だ。自民・維新の「競争至上、差別選別教育」への対案だ。

2月4日 名護市長選挙 残念ながら稲嶺市長の再選はかなわなかった。安倍政府は、基地建設容認の民意だと辺野古基地建設工事を早めようとするだろう。しかし、勝利した渡具知氏は当選後「移設容認の民意が示されたとは思っていない。私の支持者にも移設反対の人がいて複雑な民意だ。（政権とは）一定の距離は常に置きたい」と述べざるを得なかった。反対の声が多数であることは変わらない。「反対して基地建設が止まるのなら稲嶺さんに、反対しても政府は強行する」とのあきらめで、稲嶺支持から渡具知支持へ変えた方もいるそう。市民をあきらめさせる政府の方針が功を奏したようだ。辺野古では今日も反対行動が続けられている。「最後まであきらめない」この言葉を胸に新基地建設反対の沖縄県民と連帯を続けたい。

1月24日 1月分議員報酬から217,400円を大阪法務局へ供託。政務活動費は一円も受け取っていません。

〒573-0027

枚方市大垣内町

2丁目8-27

シンエービル別館A

市民の広場“ひこぼえ”

TEL&FAX

072-846-8780

## 平和で豊かな枚方を市民みんなで作る会

共同代表 黒田 薫（平和都市枚方を考える市民の会）

鈴木めぐみ（親と子のリズム遊び講師）

奥村 秀二（弁護士）

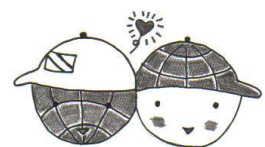
おおた幸世（枚方市平和無防備条例を実現する会）

事務局 手塚 隆寛（枚方市会議員）

スタッフ 松田 久子（「すずらんの集い」代表）

メールアドレス：[hiratkatasiminokai@yahoo.co.jp](mailto:hiratkatasiminokai@yahoo.co.jp)

ホームページ：<http://hiratkatasiminokai.jimdo.com/>



「会」のシンボルマーク

塔本賢一さん作